

# Rotary Yachiyo



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 年度国際ロータリーテーマ  
「奉仕しよう」

みんなの人生を豊かにするために」

2021-22 年度クラブテーマ

「立ち向かおう！」

ロータリアンの総意を結集して」

## 週 報 第 2 6 1 6 回

2021 年 7 月 2 日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

### 今回例会行事

テーマ：会長幹事所信 役員就任式

担 当：会長・幹事

次回例会 7 月 9 日

テーマ：委員会活動計画発表

担 当：会長・幹事

◆◆◆第2615例会◆◆◆

司会 浅野正幸

「奉仕の理想」

会長挨拶

市原正男



皆様こんにちは  
会長挨拶と言いましても、本日は後程、  
年次総括で再度登壇いたしますので、ほ  
どほどにと思うのですが、会長経験者の  
方は誰も思うのかもしれませんが、最初  
は例会が終わるたびにあと45回とか、あ  
と44回とか、先の長い例会回数を指折り  
減らしてきたのですが、最近、残りの例会  
数が減るたびに、何か、ほんの少しで有  
りますが、いくばくかの寂しさ感じる今日  
この頃であります。

数年前の過去会長からはちやほやされ  
るのはお前にではなく、お前の肩書にだ  
けだから、会長じゃなくなった途端に誰も  
口きいてくれなくなるぞと言われておりま  
して、今の悩みや、2年間前面の指定席  
に座っていましたが、来週何処に座れ  
ばよいのかがにわかに悩んでいることで  
あります。

数年前に中島仁会員が、なるべく多くの  
会員と交流を深めてもらおうとの思いで、  
交流カードのようなものを発行し、両隣、  
前後に座った方と握手をし、会話をし、そ  
して話をした方には丸印をし、なるべく1  
年間で、全員の会員と会話をしようと言う  
企画を実施していただきましたが、あれ  
は非常に良かったと思っております。とか  
く、着座位置は固定しがちなものでは  
ありますが、次年度以降でも、多くの会員の方と  
会話する機会が増えるような企画を期待  
するところであります、

でも、来週は、そのように助言をくれた橋  
本会員の隣に座り、寂しい者同士傷口を  
舐めあいながら、例会を過ごそうと思っ  
ております。

簡単では御座いますが、後程総括をさせ  
ていただきますので、会長挨拶は以上と  
させていただきます。

## 幹事報告

江頭泰利

7/2の例会より小林鷹之氏の入会が決定いたしました。

## RLI修了証書授与

RLI Part.1～3修了

江頭泰利 会員



## 委員会報告

次年度幹事 鈴木利雄



お手元に2021-22年度の例会の日程表を配布しました。

7/23: 祝日(スポーツの日)で休会

8/6: ガバナー公式訪問 16:00～

終了後直前会長幹事慰労会  
詳細が決まりましたらご報告致します。

## お祝い

夫人誕生日: 三井桃子様

## 例会行事 年次総括発表

会長 市原正男



皆様こんにちは  
会長としての最後の仕事となりますが、総括を発表させていただきます。

皆様、会長と言うと昨年の7月からですので、1年間とお思いでしょうが、会長経験者の方は解りますが、実際はさらに1年前の7月からは活動が始まる訳であります。私の場合も、杉山会員が会長職をスタートさせたと同時に、先ず、11月の理事会に提示する理事メンバーの選定作業にかかったわけですが、その中には当然、会長エレクトの選任もしなければならぬ訳であり、又当然、こちらから一方的に指名して終わりと言うわけでは有りませんので、仕事の多い役職と言っては語弊がありますが、委員会によっては、なかなか内定者が決まらず、日にちだけが過ぎてしまうと言う日々が続いたときも有りました。又、この年は杉山会長の下、中長期計画を策定すべく、戦略計画特別委員会が組織され、私にもオファーがあり、1年間この委員会の中で、10年後の当クラブの有り方について、今後クラブが行わなければならない、奉仕活動や人材の育成やそして、又、目指すべき、目標の会員数や、クラブが永続的に存在するための組織や予算編成など様々な角度から、議論をさせていただきました。その中で私の時に真っ先に取り組まなければならないと思ったのが、活動計画書のトップに掲載させていただきましたが、当クラブの「ビジョン2030」の中の中長期目標の8に有りますが、「持続可能なクラブの人事、組織、予算編成」であります。先ずその中で、第一に予算について有ります。

コロナがまだ発生していなかった、昨年の年明け、杉山年度の前期の収支がまとまった時、杉山会長から相談が有ると言われて打ち明けられたのが、(出席率が高すぎで)例会費が全く足りない為、このままでは、一般会計がマイナスで引き継ぐようになってしまうと言うお話でした。この話は戦略計画特別委員会でも議論をさせていただきましたのですが、会費を増額すると言う話も出ましたが、先ず、削減できるコストを削減できないかと言う事になり、出た案が、週報を自作しコストを抑えられないかとの事でした。そうは言っても、クラブ運営の大きな変更ですので、誰が、どのように実施するのか事前に会員の皆様に提案しなければなりませんので、1月末には次年度からの実行に向けて様々な検討を開始いたしました。

私が最初に取り掛かったのが、一人の女性を口説くことからであります。そして、事務局の山口さんから何とか週報作成の内諾を取付け、全体のデザイン、表紙のレイアウト等の案は会報の稲山委員用などに検討していただき、そして、昨年は4月に細則変更の為の臨時総会を開催しましたので、その時に皆様に週報の自作移行について承諾をいただいたものです。(これらは全て会長就任前に実施したことであります)

個人的な考えですが、紙面として出力する枚数は減少させていき、いずれはデータのみ掲載し、ペーパーレス化が望ましいのでは思っております。

それと、予算につきましてはもう一点、ニコニコBOXと友愛BOXのバランスの問題ですが、こちらも、どうしても親睦委員会は会員の親睦事業を優先するあまり、友愛BOXを率先して集めがちであり、本来の奉仕活動に使用するニコニコがおろそかになってはと思い、友愛の予算に90万の上限を設定させていただきました。もし、事業が全て実施出来ていたとしたら、クリスマス家族会や親睦旅行は個人の負担を少し増やさせていただいたところがありますが、結果的には、皆様からせっかく頂戴した友愛がそっくり余ってしまうほど、親睦の事業が実施できなかったことは心残りであります。

そして、予算の他に、年度スタート前に決定しておきたかったのが、次年度に向けてのクラブの組織の事、であります。本年の私が掲げたテーマは「地域の奉仕ニ

ーズを捉えられるクラブ作りに取り組もう」とさせていただきました。

活動計画の挨拶にも記載させていただきましたが、当クラブの場合、年次総会で次年度の活動方針を会長が示していない中、先ず、委員長だけを任命しておき、数か月後に会長方針を示し、1か月後に活動計画に掲載するので、委員会の活動計画を提示して下さいとなる訳ですが、当然、何をやるのかも決まらないまま、任命された委員長さんは、結果、例年通りの事業をやっているだけで無難となりがちであったわけで、単年度で活動するクラブの活動内容を変更することの難しさを痛感していたわけでありました。

そこで、次年度は何か少しでもクラブの運営が良い方向になるように、委員会の構成を少し変更したほうが良いのではないかとかの思いと、クラブ内での議論があまりにも少なかった為、次年度はクラブ協議会と戦略計画特別委員会を交互に開催にする案など、これらも、2月頃からの検討事項でありましたが、実はこれらは全て、私が会長に就任する以前に事前に実施していたことであります。私の業界では段取り八分と言いますが、物事は、始まる前の準備でほぼ決まると言っても過言でないと思っています。自分でも段取りまではよく頑張ったなと思っています。

そして、7月のスタートを迎えるわけですが、結局、予測はしていましたが、最初から最後まで、コロナウィルスとの共存と言う事になってしまったわけですが、それでも12月までの前半は何とか杉山会長と中島幹事の慰労会や新入会委員さんの歓迎会で有ります、月見の会など、親睦の事業は実施できましたし、又、会員のみなさもお協力を得て、クラブ協議会を2回開催し、又、クラブ協議会の内容をフィードバックするために戦略計画特別委員会も3回開催させていただきました。戦略計画特別委員会につきましては、君塚会員にお願いし、遠藤副会長と統括委員長で有ります、風間、福田、植村、宮田会員、そして次年度の鈴木副幹事、会長ノミニーの杉会員にお願いしたところで有りますが、前半は主に委員会の再編について協議していただくことができました。そして、12月の年次総会では、委員会構成に対する細則の一部の改正を実施させていただき、それを基に江頭会長エレクトに次年度の理事役員を選定いただいたところであります。

ところが、1月に新年を迎えてからの後半

は、新年早々の緊急事態宣言に始まり、更に幾たびかの延長と、そして更に、今度は蔓延防止措置と言う事になりました。結局、数日前に千葉県には措置が延長された中、八千代市こそ解除になりましたが、正に試行錯誤の連続で有りました。

そのような状況の中でしたが、実は例会が中止になった1月から、私と江頭幹事、事務局の山口さんは毎週金曜日に集まっており、臨時理事会はどうするかとか、様々な打ち合わせをしております、皆様にご協力をいただきながら、週報も委員会中間報告と会員の近況報告の発行。お祝いの品物も送付と思ったのですが、江口親睦委員長からは、せっかくだから、安否確認も兼ね、届けようと発案が有り、手分けをして手持をさせていただきました。休会中もSAA田村会員や親睦江口会員やプログラム菊川委員長、鈴木副幹事など様々な皆様にお手伝いいただき、又、遠藤副会長におかれましては、ほとんど毎週参加いただきましたし、多くの会員の皆様のご協力を得ながら、何とか休会中の運営に努めさせていただいたところであります。

ここで、少し後半戦、本来は実施しなかったことを話させていただければと思います。実は、戦略計画特別委員会では話をさせていただいていたのですが、とにかく前半は、12月の年次総会までに、何とか次年度の委員会構成をまとめなければならなかった為、そのことを中心に皆様に議論いただいた訳ですが、それがひと段落した暁には、後半は、実は私が日ごろ思っていた、会員増強の有り方についてクラブ協議会を開催し、会員の皆様から、有効な会員の拡大方法を議論していただこうと思っておりました。現在のような、個別の交流関係、人脈で会員をお誘いするのは当然その方の人となりも解ったうえでお誘いするわけで有りますから、有効なのかもしれませんが、それよりもっと大きな視点で、会員全体で八千代市内の有望な経営者の皆様の中から、先ず多くの候補者の方をリストアップし、その中から適切な方を抽出と言っては失礼ですが、最適と思われる方に声がけすると言う方法は実施できないかと言う事を議論してもらいたかったところで有ります。これにつきましては、次年度、会員増強には力を入れたいとおっしゃっております江頭会長エレクトに託したいと

思います。

いずれにしても、様々、試行錯誤の一年間になりましたが、思い起こせば、本年は、ある時期から、感染防止の観点から外部卓話者は遠慮していただくことになり、多くの会員の方に自分の考え、生い立ち、事業の紹介など、卓話をしていただき、今まで知らなかった、会員の本性と言うか、人となりが解り、何か、より会員同士の連帯感が強まったような気がいたします。雨降って、地固まるではないですが、よりクラブの結束力が高まったような気がいたします。そうは言っても、コミュニケーションの中心はやはり、ノミニケーションであります。全会員で乾杯をし生ビールが飲める日が一日も早く戻ってくることを祈念するばかりであります。

少し時間が有りそうなので、印象に残っている挨拶の話をさせていただきます。10年後の例会風景と言うお題で、10年後には稲山会員がビジョン2040を策定し、会長は飯田会員と言う内容でしたが、これが思った以上に反響を呼びまして、当クラブの方からも様々な意見を頂戴しましたが、実は、他クラブにもこの話が伝わっているようで、八千代中央ロータリーの会員の方や、又、ある会合で橋岡パストガバナーにお会いしたのですが、橋岡さんから八千代さんは10年も先まで会長が決まっているようでうらやましいですねとおっしゃっていましたが、佐野さんから聞いたとの事でした。

これは、私が勝手に思った空想なので10年先まで会長が決まっているわけではないのですが、どの団体でもそうですが、例えばある役職、支部長ですとか、依頼されたときに、大変な役職であるほど、当然引き受けることはためらうわけですが、その理由として、次に引き受けてくれる方がいるかどうか心配で受けるに受けられないと言う事は無いでしょうか。私が、何かを引き受けるときはなるべく、受ける条件等して、次にやる人を決めてくれとお願いするのですが、そうでないと次も引き続きで、さらに又次もと言う事になることを考えると受けるに受けられないという事にもなりがちです。当クラブでも会長ノミニや幹事の選任には皆さん苦勞するところではありますが、現会長がノミニーを選出すると言うやり方も何か別な方法、例えば、選考委員会数名を選出し役員の改選をバックアップすると言う方法を検討し、

役員を引き受けた方が、次期役員の選出で頭を悩めると言う事が無いようにしていくべきではないかと思えます。

最後になりますが、様々なことを実行しようとしたのは良かったのですが、何か大風呂敷を広げたままで中途半端で退任になってしまい申し訳ない気持ちで有りますが、1年間私を支えていただきました、江頭幹事、理事役員の皆様や委員長の皆様、すべての会員の皆様に御礼を申し上げさせていただきます、年次総括といたします。1年間ありがとうございました。

### 幹事 江頭泰利



2020-21年度幹事として本日の例会が最終となります。新型コロナ禍のもと、ロータリー活動が自粛を余儀なくされ、ほとんど活動らしい活動ができない状況で、最終の例会を迎えています。昨日も、東京では570人の新規感染者が発生しており、これからオリンピック・パラリンピックが開催されると、7万人の海外から選手及び関係者等の来日を控えており、現在の感染状況を専門家会議の方々から「感染爆発の予兆という見方」もされております。会員の皆様方は、ワクチンの接種を済まされましたか。

このような中であって、会員の皆さまの自発的な行動により、感染者を一人も出すことなく、最終例会を迎えられたことに深く感謝申し上げます。

振り返りますと、昨年度から引き続いていた新型コロナ感染症は、昨年7月以降も衰えることなく続きました。このようななか、机の配置を学校方式にして3密を避け、マスク着用、フェースカバーの着装、手指消毒、非接触型体温測定器の導入、健康状態の自己申告等により、徹底した感染防止対策を実施してまいりま

した。地区の情報研修会、IM行事も相次いで中止またはZOOMによる方式になりました。また、クリスマス家族会、親睦旅行も中止せざるを得なくなりました。

一方で、今年1月には「緊急事態宣言」が発出され、1月15日より例会は休会とし途中で「蔓延防止等重点措置」に変わりましたが、最終的には、およそ3か月の休会となり、3月26日から再開しました。この間、メール及びFAXにより臨時理事会を5回開催し、緊急事態宣言の延長による例会の休会の延長や例会再開時期について、緊急事態宣言解除後6日以降に到来する例会から再開することや、再開後の例会の運営方針を一部変更して食事中の会話防止について努めることをお願いいたしました。また、久土地会員を地区青少年交換委員として追加推薦することを決定しました。地区大会もYou Tubeによる方式をとられました。この間、週報は、何らかの形で発行したいという市原会長の思いを、「委員会活動中間報告」として各委員会から原稿を提出していただき2月5日号として発行しました。さらに、休会中の会員の皆さんの近況報告として2月23日に臨時増刊号を発行しました。会員の近況報告を募集しましたところ、会員の8割を超える44人から応募があり、写真添付も8人あり会員の皆様が元気な近況をうかがうことができました。

また、例会の皆出席のため無理されないよう、コロナ禍のため、クラブ定款第10条第5節(a)に基づき、健康上の理由による出席規定の適用の免除の申請を受付し、新たに2人の申請を受理しました。以上のような休会中も毎週金曜日は会長、山口さんともどもパッソさんにお伺いして、様々な案件の処理に当たりました。

市原年度においては、委員会の活動の活性化が大きなテーマでした。クラブ戦略計画特別委員会において審議が行われ、クラブ奉仕委員会、会員増強委員会、クラブ広報委員会、雑誌委員会の各委員会活動に他の委員長の兼務等による効率化が来期以降推進されることになりました。なかでも、週報については、制作の内製化が実施され、今年度から経費的に大きく寄与することになりました。

幹事としての務めとして、理事会にかける案件の情報を収集し、役員理事の皆

様に理事会の前日までに、全ての案件をメール、FAXにて配信し、役員理事の皆様が理事会に出る前に一読しておいていただく体制をとりました。

また、クラブ協議会においては、各委員会活動の進捗状況等の情報が統括委員長に伝わってこない状況を改善すべきだという意見がありましたので、例会の中で統括委員会毎の委員会活動を実施することにより、まず統括委員長の方から委員会に対し理事会の様子を話していただき、各委員会間の意思の疎通を図る目的で行いました。

6月20日(日)には、会長エレクトを5人程度集めて、「ロータリー談義の集い」がZOOMで行われました。漆原年度で13回目でした。アドバイザーに宇佐見透パストガバナーが来られ、漆原ガバナーも参加されました。そこでは、会員の資質の向上が非常に大切であることが力説され、各クラブでの研修委員会の活動実態について発表議論が行われました。新鮮な刺激を与えられたような感じで、益々会員増強と研修の重要性を痛感したところです。

「生きるということは、戦うことである。」とよく聞かされていきました。しかし戦う相手が、ウイルスもあるということは、インフルエンザぐらいしか今まで認識してこなかったようです。この1年間の新型コロナとの闘いは、よく政府発表で「新型コロナに打ち勝った証」という言葉が言われていますが、積極的な活動ができない中でのロータリー活動は非常に貴重な体験となりました。このような状況の中、会員の皆様にご満足いく機会を提供できなかったことは、残念でなりません。

市原会長はじめ各委員会の委員長、会員の皆様のご指導に厚く御礼申し上げます。

## 花束贈呈

パソスタッフ・事務局



## ニコニコ BOX

¥69,000-

☆妻にきれいなお花ありがとうございます。

最終例会欠席ですみません。三井

☆皆様1年間お世話になりました。市原

☆1年間お世話になりました。江頭

☆市原会長、江頭幹事

1年間大変お疲れ様でした☆

遠藤・鈴木利雄・宮野・櫻井・上代・小村

栗原・安宅・杉山・橋本・飯生・浅野正敏

松戸・古川・植村・及川・渡邊・佐野・福田

寺沢・飯田・中村・中島貞好・杉・佐久間

稲山・菊川・朝戸・永田・江口・浅野正幸

日下部・山浦・池田

☆隠れて良い事をするのが人生の要諦です

佐野

☆最終例会となってしまうました。君塚桂一

☆会員選考委員の皆様

1年間ご苦勞様でした。中島 仁

☆なが〜く欠席しました。大中

近隣クラブ例会日	例会場
火曜日 四街道R.C	四街道ゴルフクラブ
火曜日 八千代中央R.C	ウィシュトンホテル・ユーカリ
水曜日 習志野R.C	習志野商工会議所会館
水曜日 佐倉中央R.C	第1ウィシュトンホテル・ユーカリ第3夜間オリバート
木曜日 佐倉R.C	フランス料理 シェ・ムラ
木曜日 習志野中央R.C	習志野商工会議所会館

	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
6 / 25	54	49	45	91.84

7月のロータリーレート 1ドル ¥111-

■クラブ広報委員会 委員長:稲山雅治 副委員長:浅野正幸 委員:山崎克巳 久土地 剛

■出席委員長 日下部良夫 ※欠席の際は必ず火曜日までに出席委員長に連絡して下さい。

■例会日 金曜日 12:30~13:30

■例会場 パッ・ノグ・イ・タ (〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F FAX047-450-0050)